



## 「ウェルビーイング」の実現を目指して

校長

2023年6月に閣議決定された教育振興基本計画に、「ウェルビーイング」という言葉が明記されました。この言葉は、OECD（経済協力開発機構）などでは以前から重視されてきた言葉ですが、日本の教育振興基本計画には初めて明記されたキーワードです。

「ウェルビーイング」とは、「身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念」「多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念」です。子どもたちのウェルビーイング実現のためには、学校が主体性をもって教育活動を進めることが求められており、これは、子どもたち一人一人が幸福感を感じられるよう、学校の強みを生かしながら教育活動を創造していくことにほかなりません。

では、笹口小学校の「強み」は何でしょう。その一つとして子どもたちのために何か力になりたいと考え、労を惜しまずご協力くださる保護者や地域の皆様の存在があると考えます。「協力する」だけでなく「子どもたちと一緒に楽しむ」という意識が主体的な支援につながっていることも強みだと感じています。また、身近に駅や専門学校等の教育機関、店舗、伝統的なお祭りなどの教育資源や人的資源が豊富にあることが挙げられます。更に、笹口小学校の教職員の専門領域や特技は様々であり、これらを駆使しながら教育活動を進めることも、大きな強みになると捉えています。このような笹口小学校の強みを存分に生かし、豊かな教育活動を創造していくことが、子どもたち一人一人のウェルビーイングの実現につながるのだと確信しています。

さて、本紙面にある児童代表による「終業式での発表」をご覧ください。特筆すべきことは、「友だちがアドバイスしてくれたこと」「下級生から喜んでもらったこと」「人を楽しませることができたこと」「人の気持ちに近づけたこと」「友だちと協力して楽しかったこと」など、全ての子どもたちが、「人とのかかわり」に関することを記述しています。私はここに「ウェルビーイング」を支える基盤があると考えます。様々な知識や技能を身に付けるだけでなく、人とのかかわりを重視し、人と豊かにかかわる力を身に付けることも学校に求められている大きな役割です。やはり人は人とのつながりによって喜びや幸福感を得ることができるのだと改めて感じます。しかし一方で、人とかかわることは、必ずしもよいことばかりを生み出すわけではありません。差別やいじめ然りで、人とかかわることは、悲しみや苦しみを生み出すこともあることを忘れてはなりません。人とのかかわりの「よさ」をいかに多く子どもたちに体感させられるかを考えることが重要です。

今年度一年間、当校の教育活動は、多くの保護者・地域の皆様から支えられてここまでできました。そんな多くの方々のお力添えに深く感謝しながら、来年度の教育活動の創造に思いを巡らせる今日この頃です。一年間、本当にありがとうございました。

学校教育ビジョンで目指す3つの資質・能力  
「可能性を伸ばす力」「尊重し合う力」「挑戦する力」  
について、前期を振り返って、子どもたちが自分の成長を確かめました。

\*後期終業式でスピーチしてもらいました。

1年生

うれしかったことは、たいいくで1ふんかんとびができたことです。みんなのとびかたを見たり、はなしをきいたりして、いろいろなコツがわかりました。ともだちが、「うでは、わきの下にくっつけるといいよ。」と、いってくれました。やってみるとうまくできました。ほかにも、足は小さくジャンプするといいとわかりました。

1ふんとびがはじめてできたとき、じぶんがれんしゅうしてきて、やりきったかんじがして、すごくうれしかったです。2ふんとびももうすぐできそうです。これからもれんしゅうをがんばります。(可能性・挑戦)



2年生



わたしがとくに後きがんばったことは、「かのうせい」と「ちょうせん」です。

12月に生活のじゅぎょうで1年生におもちゃらんどをひらきました。わたしは、ころころころんを作りました。作るのとてもむずかしかったです。とくに、ビー玉が出ないように作るのがたいへんでした。いっしょのグループの友だちとなんどもころがしてみても、だんだんじょうずにころがすことができるようになりました。また、ころころころんをころがす人がじょうずにころがせるように、ダン

ボールで作ったさかに、はげましどうぶつをはりました。

当日はたくさんの1年生が来てくれて、きんちょうしました。わたしはみんなの前で話すのが、にがてで、でも思い切って、1年生の前でせつめいしました。言ってみて心がスッキリしました。1年生に「楽しかったです。」と言ってもらえて嬉しかったです。

3年生になったら、とくに理科のじっけんをちょうせんしたいです。いろんなことにちょうせんして、自分のできることをふやしていきたいです。(可能性・挑戦)

3年生

わたしが後期に頑張ったことは、けやきっこ祭りです。3年生になったので、はじめてのお店だったので楽しみでした。私はルール説明の係になりました。わたしは、もともと文を書くことが苦手でした。なので、ルール説明の仕事になった時は、「ちゃんとわかりやすい説明が書けるかな。」と心配でした。だけど、いっしょにルール説明の仕事をしていた友だちと協力して、自分たちだけじゃなくて、他の学年にもちゃんとつたわるようなルール説明を書こうと頑張りました。



た。わかりやすい言葉を使ったり、ゆっくり話したりしました。結果は、大成功でした。遊んでいる途中でルールにないことをする人はいませんでした。来てくれたお客さんが楽しんでくれて嬉しい気持ちになりました。

わたしは、友だちと協力して頑張って挑戦したかいがあったなと思いました。

(可能性・尊重・挑戦)

#### 4年生

私は、後期で可能性・尊重・挑戦を頑張りました。

可能性では、テストの時に、どうしたら100点を取れるかを考えて、頑張ってプリントをたくさんしました。その結果100点を取ることができました。自分で考えた方法が成功したので飛び上がりたほど嬉しかったです。

尊重について私は、6年生から、掃除の時にみんなの中心になったり、優しく声をかけてあげたりと、1人1人に、気を配ることを学びました。一人一人に気を配って活動すると班の人がどんどん仲良しになっていくように感じました。だから、私もできる時は6年生のように行動してみたいと思いました。

3つ目は、挑戦です。私は、教科の中で、道徳が苦手です。人の心に近づくことがまず、苦手でした。その為、人に気を配る事なども苦手です。だから、校長先生が人の心に近づくというお話をしてくれた日に、勇気を出して少し挑戦してみました。気を配ったり、人の心に近づいたり、そうしたら、その日友達の気持ちなどが、分かる気がしました。いつもの100倍楽しかったです。面白かったです。人の心に寄り添うとこんなに楽しいんだなと思いました。

このように振り返ってみて、成長したことが見付き、嬉しいと思いました。5年生でも成長できるように頑張りたいと思います。(可能性・尊重・挑戦)



#### 4年生

ぼくは、4年生でたくさんの方に挑戦し、色々なことを頑張りました。その中でも特に頑張った2つのことを発表します。

1つ目は、運動会の白組の応援団になったことです。練習の時から大きい声を出すことを頑張ったので、運動会当日は1回もミスしないで終わることができました。応援団のみんなと練習したからこそ、本番では成功できたと思いました。応援団に挑戦することで、ぼくは活躍の場を広げることができました。

2つ目は、六送会のデモンストレーション係です。六送会本番にステージに立って説明をしました。最初は少し恥ずかしかったけれど、練習を積み重ねて行くうちに少しずつ恥ずかしくなくなっていきました。そして本番には、みんなと協力して成功することができました。次は5年生になりますが、これからも頑張っていきたいです。(可能性・挑戦)

#### 5年生

5年生の1年間は、自分自身の成長を見つめることができた1年間だったと思います。

勉強では、4年生の時に比べて、内容がたくさん増えました。その分、たくさん勉強して成長できたと思います。

また、5年生といえば、大自然の中で体験活動ができた「自然教室」が楽しい思い出です。



そして、やっぱり一番大きく成長できたのは、「六年生を送る会」でした。

私は、実行委員長として全校を引っ張らなければならない役目だったので、たくさん頑張りました。本番が終わった後の「やり切った感」がとても大きかったです。

それまでは、どこか自信の無かった私ですが、6年生につながる活動になりました。

4月からは6年生になりますが、初めから上手にできないところもあると思います。だけど、最高学年として全校

のお手本になれるよう、精一杯頑張りたいと思います。(可能性・挑戦)

## 6年生

私の後期の目標は、卒業までを全力で楽しむことです。

私は、光のページェントの点灯式に参加することができなかったので、今まで取りにがしてきた青春を、全部取りかえしてやると決めてこのめあてにしました。そこで、これまであまり出来なかった実行委員や代表に立候補することを心がけました。

1つ目は、六送会です。自分のリズム感を信じてダンスのボーカル担当に立こうほしました。ここでは、可能性、挑戦パワーを使いました。練習はとても大変でしたが、全校の前でクラスのみなどと一緒に発表したのは、とても楽しかったです。全力で楽しむことができました。みんなの力を信じて、協力し合ったことで、尊重パワーも高まりました。

2つ目は、この終業式の発表に立候補したことです。今まで自分が人前で話したり、文章を書いたりすることが好きだと思っていたものの、今のように大勢の前で発表したことはありませんでした。そこで、自分の実力をためしてみようと挑戦パワーを使っています。私は、これからも自分を信じていろいろなことに挑戦し、自分をさらに高めていきたいと考えています。

そして、これからは、挑戦だけでなく、努力することも大切にしていきたいと思います。目標に向かって努力すれば、たとえ失敗してもむだになることはありません。このことを大切にして中学校生活を歩んでいきたいです。(可能性・尊重・挑戦)

